

泉武夫著

仏画の造形

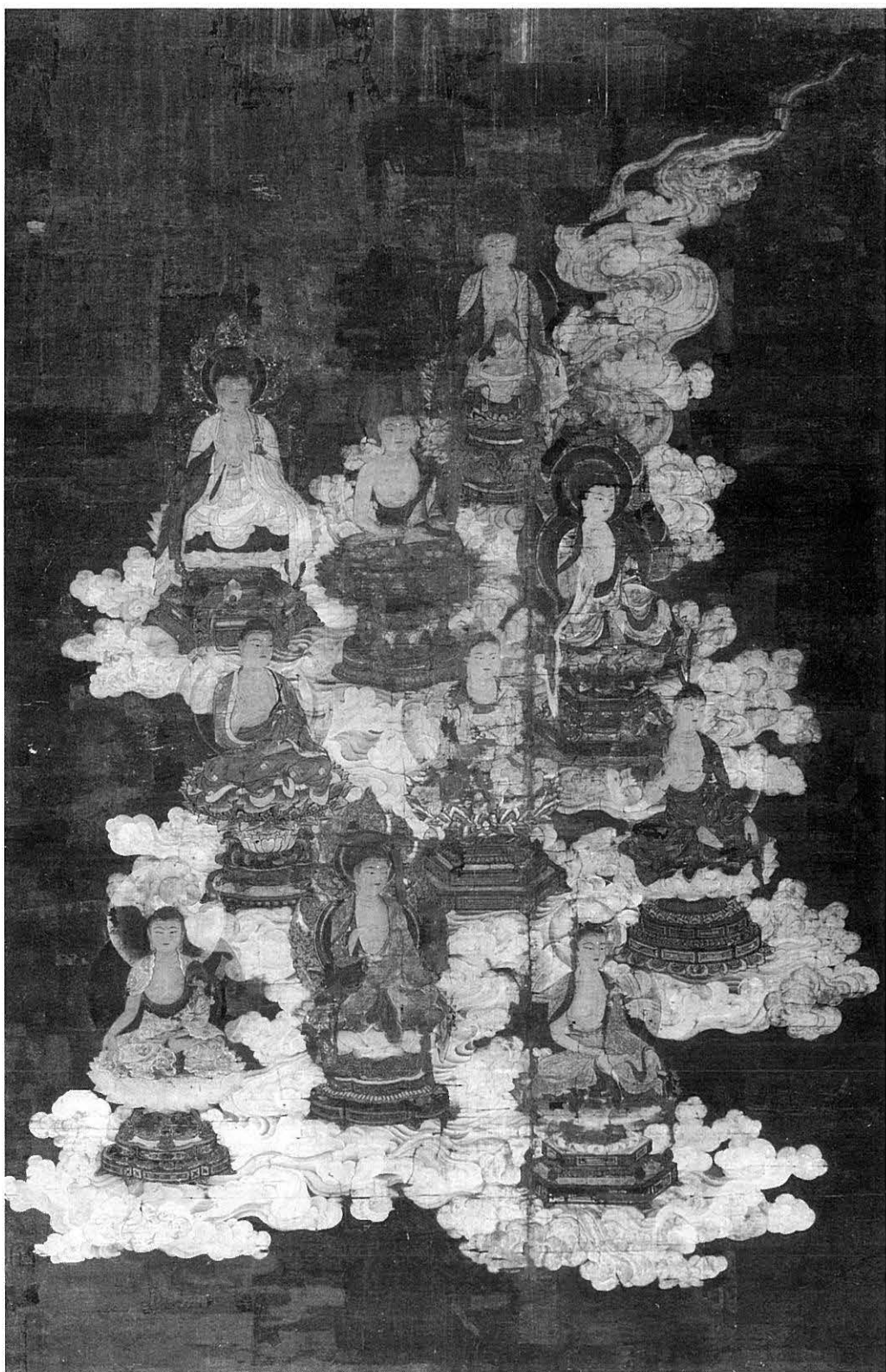
吉川弘文館刊行



图版1 阿弥陀来迎图 全图 净敝院



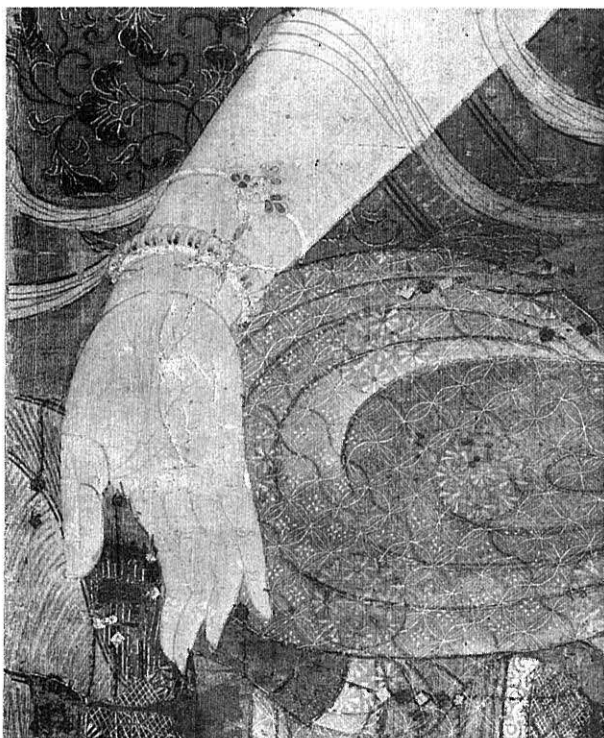
图版2 阿弥陀聖衆来迎图 全图 安樂寿院



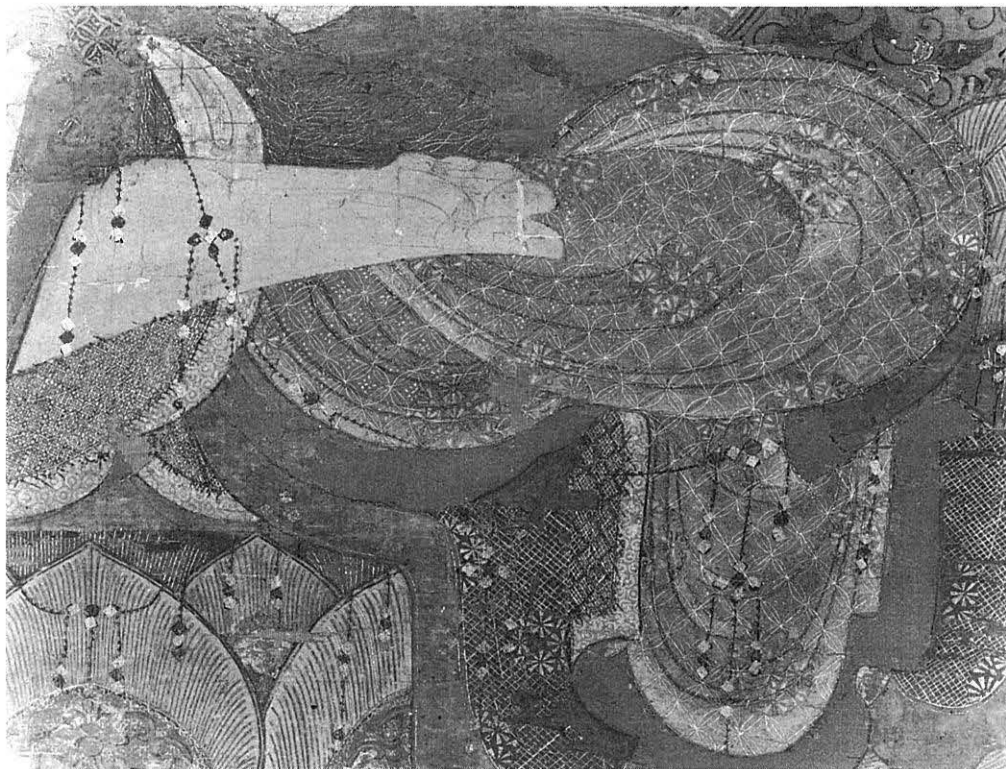
图版3 十体阿弥陀像 全图 知恩寺



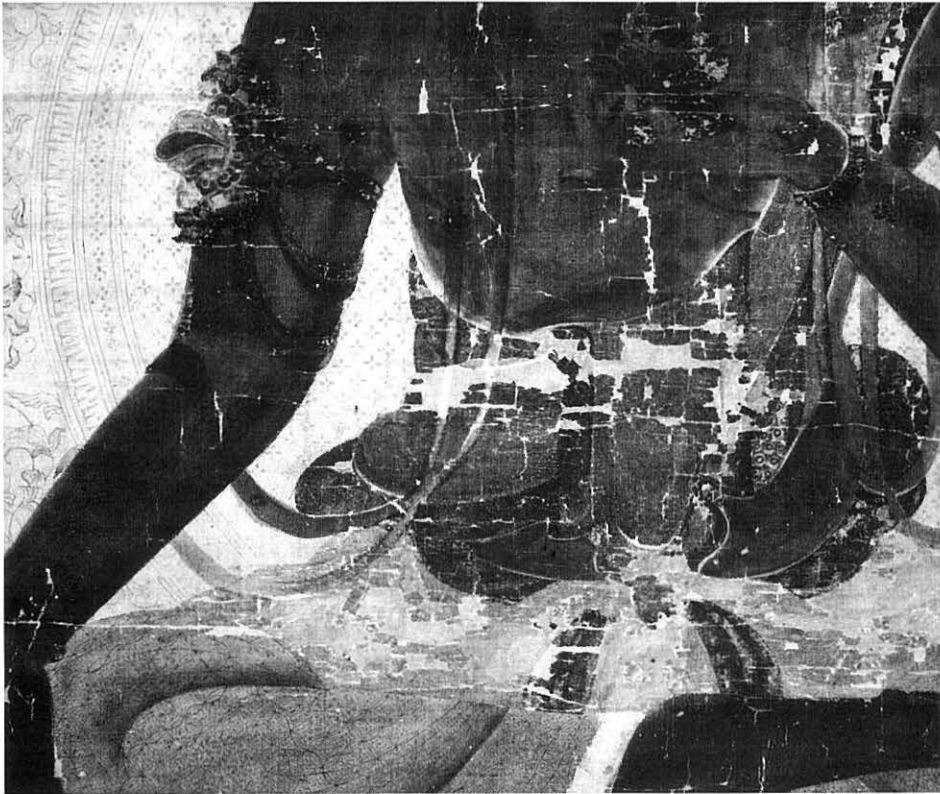
図版4 虚空蔵菩薩像 全図 東京国立博物館



図版 5 虚空蔵菩薩像 右掌 東京国立博物館



図版 6 虚空蔵菩薩像 左膝 東京国立博物館



図版7 虚空藏菩薩像 顔 (X線写真) 東京国立博物館

図版8 虚空藏菩薩像 腹部 (X線写真) 東京国立博物館



图版9 孔雀明王像 全图 仁和寺



图版10 孔雀明王像 全图



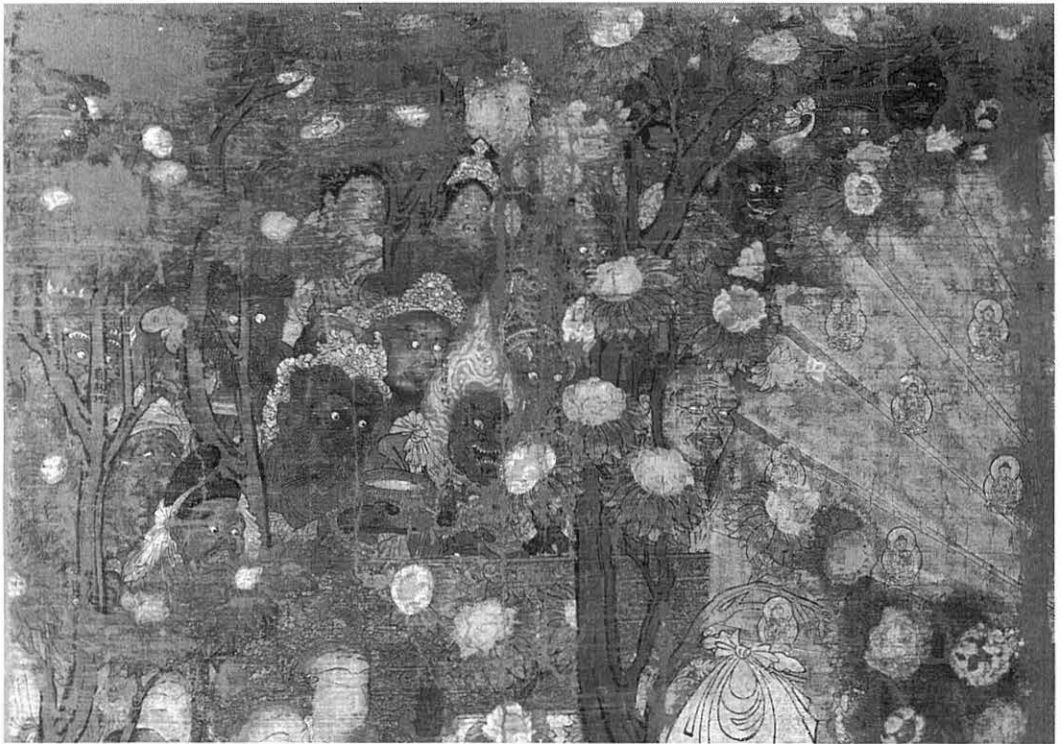
図版11 如意輪観音像 全図 法蔵寺



図版12 釈迦誕生図 全図 円通寺



図版13 釈迦金棺出現図 釈迦 京都国立博物館



図版14 釈迦金棺出現図 八部衆周辺 京都国立博物館

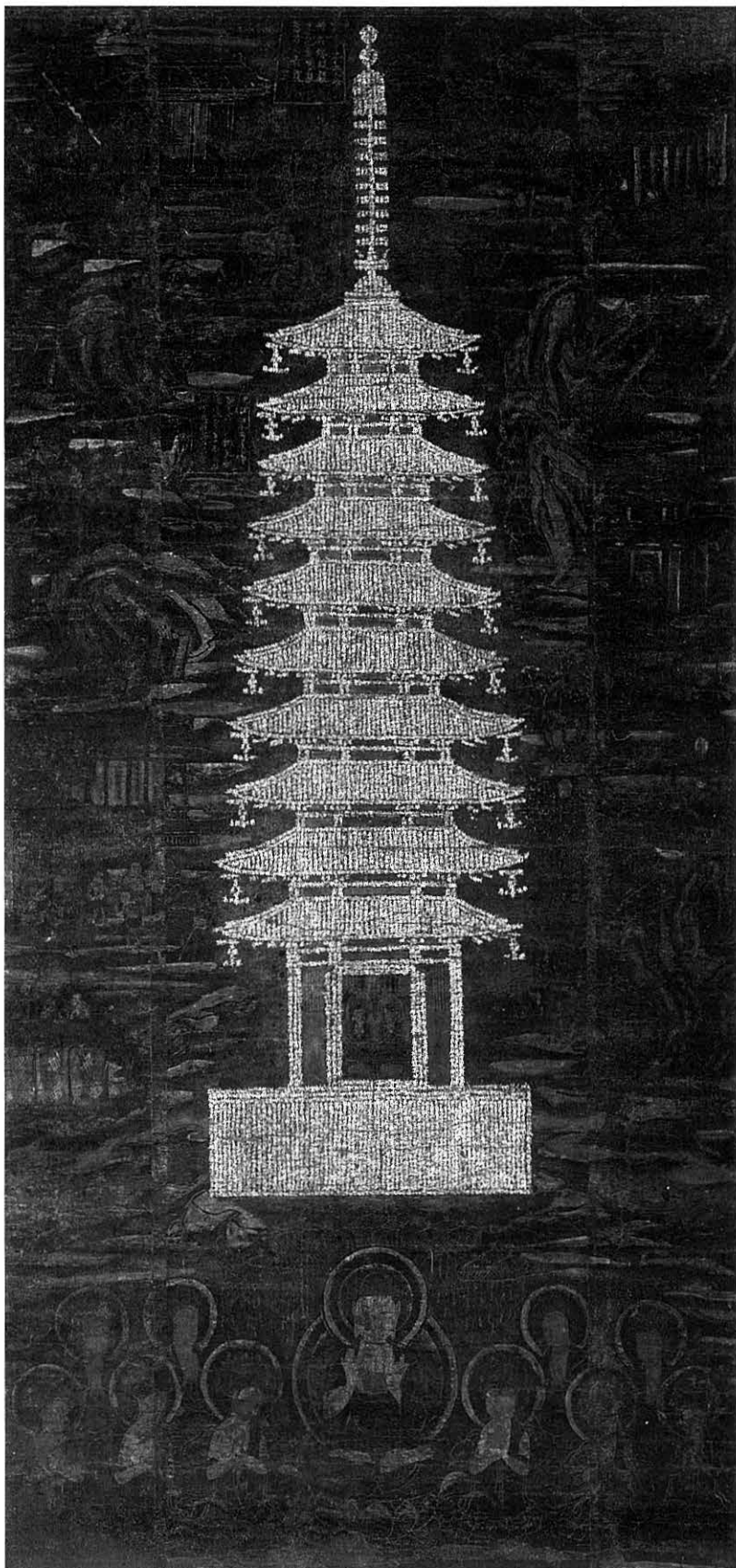
図版15 釈迦金棺出現図 異形の天部群 京都国立博物館



図版16 敦煌莫高窟148窟涅槃変相中の仏涅槃図 盛唐



図版17 敦煌莫高窟148窟涅槃変相中の再生説法図 盛唐



图版18 法華經宝塔曼荼羅 全图



图版19 法華經宝塔曼荼羅 部分



図版20 中尊寺經のうち 八十華嚴卷六十四 見返絵 金剛峯寺



図版21 中尊寺經のうち 六十華嚴卷五十四 見返絵 金剛峯寺

目次

序章 平安時代の仏画	一
はじめに	一
一 平安仏画への視点	二
二 九世紀―新しい密教絵画の請来と受容	四
三 十世紀―日本的仏画の形成	六
四 十一世紀―日本的仏画の完成	八
五 十二世紀―爛熟と変容	一三
おわりに	一六
――平安仏画における美的創造力の可能性――	
第一編 浄土教の絵画	一九
第一 浄厳院蔵阿弥陀来迎図	二二
――平安時代来迎図の一遺例――	
はじめに	二二
一 全体の図様と表現	二三
二 阿弥陀	二四

三	諸聖衆	二六
四	家屋と自然景	二九
五	色紙形	三〇
六	制作年代	三一
七	絵画史上の意義	三三
第二 安楽寿院蔵阿弥陀聖衆來迎図		
——その古様な図様と作風——		
	はじめに	三五
一	図像上の問題	三五
1	阿弥陀	三六
2	七菩薩	三六
3	その他の諸尊	四〇
二	図様と表現の特色	四〇
1	肉身	四〇
2	着衣と天衣	四一
3	光背	四二
4	蓮華座	四三
5	装身具と宝冠	四四
6	音声菩薩	四四

7 来 迎 雲…………… 四

8 不動と毘沙門…………… 四

三 図様の成立背景と制作年代…………… 四

おわりに…………… 四

第三 十体阿弥陀像の成立…………… 五

はじめに…………… 五

一 十体阿弥陀像の図様…………… 五

二 十体の印相…………… 五

三 九品往生曼荼羅と十体阿弥陀像…………… 五

四 九品往生曼荼羅の由来…………… 五

五 十体阿弥陀像の様式と制作年代…………… 六

六 残る一尊の意味と十体の構想…………… 六

おわりに…………… 六

第二編 密教絵画の意味するもの…………… 七

第一 図像の力…………… 七

——黄不動尊の造形的環境——

はじめに…………… 七

一 黄不動伝説…………… 七

目次

二	古式の不動尊	六
	——円珍入唐以前——	
三	古式の不動尊	七
	——円珍入唐以後——	
四	図像の力	八
五	表現の諸相	八
六	「黄不動」名称の成立	八
七	円珍の不動信仰と黄不動伝説の意義	八
	おわりに	九
第二 国宝虚空蔵菩薩像とその信仰背景		
	はじめに	九
一	作品の技法と表現	九
1	肉身部	九
2	宝冠	九
3	着衣	九
4	持物と装身具	九
5	蓮台	九
6	光背と天蓋	九
7	岩座	一〇
二	作風の特色と制作年代	一〇

1	「銀」使用について……………	101
2	縹綯彩色と朱線……………	101
3	裳の暈……………	103
4	截金表現……………	104
5	顔容描写……………	105
6	制作年代と絵画史上の位置……………	107
三 画像の解明……………110		
——松下説の検討を通じて——		
1	虚空蔵の経典……………	110
2	虚空蔵画像のタイプ……………	112
3	松下説の検討……………	114
4	東博本に結びつく道場観の成立……………	115
5	東博本に結びつく画像の存在……………	116
6	道場観の根拠……………	118
7	機能の問題……………	118
四 高陽院の虚空蔵講……………119		
——東博本の信仰背景試論——		
1	『今昔物語』の虚空蔵譚……………	119
2	高陽院の十斎講……………	120
3	十斎仏……………	120
4	虚空蔵の救済仏的性格……………	123

5	教团的背景	二二三
6	十三日と虚空蔵	二三四
7	本章のまとめ	二六六
	おわりに	二七七
	第三 仁和寺の孔雀明王像	二三九
	はじめに	二三九
	一 仁和寺と孔雀明王画像	二三九
	二 道長施入の唐本画像	二四〇
	三 現存の請来画像	二四一
	——その作風——	
	四 三面六臂について	二四三
	第四 孔雀明王像の一遺例	二四六
	はじめに	二四六
	一 大師相伝の画像・経典の扱い	二四六
	二 作品の図様と技法	二四八
	三 大師様の規範力	二五〇
	第五 新出の如意輪観音画像	二五四

はじめに……………一四

一 像 容……………一四

二 技法と表現……………一五

三 制作年代……………一五

付篇 園城寺境内古図の制作年代……………一五

はじめに……………一五

一 形態上の特色……………一五

二 伽藍史料との対照……………一六

三 景観年代の設定……………一六

四 作風の特徴と制作年代……………一六

五 類品の存在……………一七

おわりに……………一七

第三編 釈迦図をめぐる……………一八

第一 新出の円通寺蔵釈迦誕生図……………一八

はじめに……………一八

一 現状と伝来……………一八

二 図様の解明……………一八

1 太子右脇の群像……………一八

2	太子左脇の宮女群と四天王	一六七
3	七歩蓮華と金机	一六八
4	種々の瑞応	一六九
5	所依經典	一七〇
三	表現と技法	一七一
1	太子と七歩蓮華	一七三
2	近侍の諸天衆	一七三
3	宮女と俗形者	一七四
4	四天王と樹神	一七四
5	その他の構成物	一七五
四	制作年代	一七六
	おわりに	一七六
	第二 応徳涅槃図の図像と表現	一七三
	はじめに	一七三
一	会衆とその構成	一七三
二	図像の問題と菩薩尊名	一七七
三	表現形式	一八一
1	釈迦	一八一
2	菩薩衆	一八二

3	仏弟子衆	二二三
4	その他の会衆	二二四
5	娑羅双樹	二二五
6	宝冠と衣文処理	二二六
	おわりに	二二〇

第三 釈迦金棺出現図

	はじめに	二二六
一	研究史	二二七
二	伝来	二三二
三	図様	二三四
1	構図と画面構成	二三四
2	説話	二三五
3	会衆の構成と尊名墨書	二三八
四	技法と表現	二五〇
1	像容	二五〇
2	枝法	二五一
3	群像表現	二五六
五	絵画史上の意義	二六〇
1	図様の形成	二六一

2	制作年代と表現の独自性	二六三
六	宗教的環境	二六六
	おわりに	二六六
	第四編 経典と絵画	二六五
	第一 法華経宝塔曼荼羅	二六七
	はじめに	二六七
	一 文字塔と説法図	二六七
	二 経意絵	二八九
	三 制作年代	二九〇
	四 絵画史上の意義	二九二
	第二 中尊寺華嚴経見返絵・表紙絵の筆者分類の試み	二九五
	はじめに	二九五
	一 三種の華嚴経	二九五
	二 分類の規準	二九六
	三 分類の具体相	三〇〇
	四 画師の分担	三〇八
	五 まとめ	三〇九

成稿一覧……………三二

あとがき……………三三

索引

目次

一一

図版目次

図版1	阿弥陀来迎図 全図	浄厳院
図版2	阿弥陀聖衆来迎図 全図	安楽寿院
図版3	十体阿弥陀像 全図	知恩寺
図版4	虚空蔵菩薩像 全図	東京国立博物館
図版5	虚空蔵菩薩像 右掌	東京国立博物館
図版6	虚空蔵菩薩像 左膝	東京国立博物館
図版7	虚空蔵菩薩像 顔(X線写真)	東京国立博物館
図版8	虚空蔵菩薩像 腹部(X線写真)	東京国立博物館
図版9	孔雀明王像 全図	仁和寺
図版10	孔雀明王像 全図	
図版11	如意輪観音像 全図	法蔵寺
図版12	釈迦誕生図 全図	円通寺
図版13	釈迦金棺出現図 釈迦	京都国立博物館
図版14	釈迦金棺出現図 八部衆周辺	京都国立博物館
図版15	釈迦金棺出現図 異形の天部群	京都国立博物館
図版16	敦煌莫高窟一四八窟涅槃変相中の仏涅槃図	盛唐
図版17	敦煌莫高窟一四八窟涅槃変相中の再生説法図	盛唐
図版18	法華経宝塔曼荼羅 全図	
図版19	法華経宝塔曼荼羅 部分	
図版20	中尊寺経のうち 八十華嚴卷六十四	見返絵 金剛峯寺
図版21	中尊寺経のうち 六十華嚴卷五十四	見返絵 金剛峯寺

挿図目次

図1	真言五祖像のうち不空像 部分	東寺	三
図2	普賢菩薩像 部分	豊乗寺	三
図3	聖徳太子及天台高僧像のうち善無畏像 一乗寺		二〇
図4	普賢菩薩像 東京国立博物館		一四
図5	版本『観無量寿仏経』見返絵 部分	南宋	
図6	阿弥陀来迎図 阿弥陀如来下半身(赤外線写真)	浄厳院	二五
図7	旧日野原家の千手観音画像 部分		二五
図8	阿弥陀来迎図 羯鼓を奏する菩薩	浄厳院	二七
図9	阿弥陀来迎図 勢至菩薩	浄厳院	二七
	紹興二十二年(一一五二)銘		二

図10	阿弥陀来迎図	来迎雲と草木	浄厳院	………	元	
図11	阿弥陀聖衆来迎図	菩薩の持物	安楽寿院	………	三六	
図12	阿弥陀聖衆来迎図	菩薩の持物	松尾寺	………	三六	
図13	阿弥陀聖衆来迎図	菩薩の冠	松尾寺	………	四〇	
図14	阿弥陀聖衆来迎図	舞う菩薩	安楽寿院	………	四〇	
図15	敦煌莫高窟一一二窟	金剛經变相	部分	中唐	………	四一
図16	阿弥陀聖衆来迎図	菩薩の顔	安楽寿院	………	四一	
図17	綴織当麻曼荼羅	勢至菩薩	当麻寺	………	四二	
図18	十体阿弥陀像略図	知恩寺	………	………	四三	
図19	十体阿弥陀像の印相	知恩寺	………	………	四三	
図20	『諸尊図像』のうち	九品往生曼荼羅	MOA美術館	………	四四	
図21	十体阿弥陀中の九品配位	知恩寺	………	………	四四	
図22	十体阿弥陀像	下品下生仏	知恩寺	………	四四	
図23	阿弥陀三尊像	阿弥陀	清浄華院	………	四四	
図24	十体阿弥陀像	下品中生仏	知恩寺	………	四四	
図25	阿弥陀三尊像	観音蓮台	清浄華院	………	四四	
図26	十体阿弥陀像	定印阿弥陀	知恩寺	………	四四	
図27	不動図巻のうち	高雄曼荼羅様	不動	醍醐寺	………	四七
図28	胎蔵図像	不動	奈良国立博物館	………	四八	
図29	四種護摩本尊並眷属図像の尊名未詳尊	醍醐寺	………	………	四八	
図30	黄不動	曼殊院	………	………	四八	
図31	虚空蔵右手	描起し	………	………	四九	
図32	普賢菩薩像	裳	東京国立博物館	………	四九	
図33	虚空蔵菩薩像	口	東京国立博物館	………	四九	
図34	釈迦如来像	口	神護寺	………	一〇六	
図35	阿弥陀三尊像のうち	観音	清浄華院	………	一〇八	
図36	『別尊雜記』のうち	虚空蔵	現図様	仁和寺	………	一〇三
図37	伝扉絵八大菩薩図像のうち	虚空蔵	醍醐寺	………	一〇七	
図38	四家鈔図像のうち	虚空蔵	醍醐寺	………	一〇七	
図39	虚空蔵菩薩像	醍醐寺	………	………	一〇九	
図40	孔雀明王像	顔(赤外線写真)	仁和寺	………	一〇九	
図41	孔雀明王像	孔雀の乗る蓮台の反花	仁和寺	………	一〇九	
図42	孔雀明王同経壇具等相承起請文	第一通	仁和寺	………	一〇九	
図43	孔雀明王像	安楽寿院	………	………	一〇九	
図44	孔雀明王像	顔(赤外線写真)	………	………	一〇九	
図45	敦煌莫高窟二〇五窟甬道天井	孔雀明王像	五代	………	一一〇	
図46	園城寺境内古図	北院幅	園城寺	………	一一〇	
図47	同	中院幅	………	………	一一〇	
図48	同	南院幅	………	………	一一〇	
図49	同	三別所幅	………	………	一一〇	
図50	同	如意寺幅	………	………	一一〇	
図51	同	南院幅	勸学院	………	一一〇	
図52	同	北院幅	樹林	………	一一〇	
図53	松崎天神縁起	卷一	防府天満宮	………	一一〇	
図54	園城寺境内古図	文化庁	………	………	一一〇	
図55	釈迦誕生図	太子の顔	円通寺	………	一一〇	
図56	釈迦誕生図	諸天衆	円通寺	………	一一〇	
図57	華嚴海会諸聖衆図	毘盧遮那如来の顔	高山寺	………	一一〇	

図 58	華嚴海会諸聖衆図 諸聖衆 高山寺	二七
図 59	仏涅槃図 高山寺	二〇二
図 60	仏涅槃図(応徳涅槃図) 全図 金剛峯寺	二〇四
図 61	仏涅槃図 年紀銘 金剛峯寺	二〇六
図 62	仏涅槃図 年紀銘 金剛峯寺	二〇六
図 63	仏涅槃図 尊名 金剛峯寺	二〇六
図 64	仁王経五方諸尊図 東方幅 普賢 東寺	二一七
図 65	敦煌莫高窟一五八窟東壁 菩薩の冠 中唐	二一八
図 66	仏涅槃図 金剛力士 金剛峯寺	二一九
図 67	仁王経五方諸尊図 西方幅 東寺	二一九
図 68	敦煌莫高窟一五八窟 涅槃図 中唐	二二二
図 69	釈迦金棺出現図 全図 京都国立博物館	二三三
図 70	金棺出現図 尊名墨書 京都国立博物館	二三三
図 71	仏涅槃図 部分 石山寺	二三四
図 72	金棺出現図 修理前の迦楼羅頭部 京都国立博物館	二四二
図 73	金棺出現図 鳥頭人身の図様 京都国立博物館	二四二
図 74	金棺出現図 「緊那羅神」の墨書をもつ天部形 京都国立博物館	二四六
図 75	胎蔵図像 緊那羅 奈良国立博物館	二四六
図 76	中尊寺経のうち 八十華嚴卷三 見返絵 部分 永久五年(一一一七)頃 金剛峯寺	二四七
図 77	金棺出現図 「月光長者」 京都国立博物館	二五〇
図 78	金棺出現図 金棺側面の文様(赤外線写真)	二五〇
図 79	京都国立博物館	二五六
図 80	敦煌莫高窟一五九窟西壁 普賢菩薩像 中唐	二五九
図 81	釈迦金棺出現図構成尊像略図	二七〇
図 82	紙巾と紙継ぎ	二九三
図 83	八十華嚴卷二九 表紙 金剛峯寺	二九五
図 84	八十華嚴卷三 見返	二九五
図 85	八十華嚴卷八 表紙	二九五
図 86	八十華嚴卷八 見返	二九五
図 87	四十華嚴卷二六 表紙	二九五
図 88	四十華嚴卷二六 見返	二九五
図 89	八十華嚴卷六二 表紙	二五六
図 90	八十華嚴卷六二 見返	二五六
図 91	八十華嚴卷六四 見返	二五六
図 92	八十華嚴卷八〇 見返	二五六
図 93	六十華嚴卷五 見返	二五六
図 94	六十華嚴卷一七甲 見返	二〇六
図 95	四十華嚴卷三四 見返	二〇七
図 96	六十華嚴卷一七乙 表紙	二〇七
図 97	六十華嚴卷一七乙 見返	二〇七
図 98	六十華嚴卷五四 表紙	二〇七
図 99	六十華嚴卷五四 見返	二〇七

表 目 次

表 1	虚空蔵の主な図像	二二	表 6	伽藍史料と絵図との異同	二六
表 2	虚空蔵の修法	二四	表 7	中世における園城寺金堂の沿革	二六
表 3	日記に表われた高陽院十斎講の催行暦表	二〇	表 8	釈迦金棺出現図および仏涅槃図諸本の尊名対照表	二九
表 4	十 斎 仏	二三	表 9	華嚴経表紙絵・見返絵の筆者分類	二七
表 5	日並仏比較表	二五			